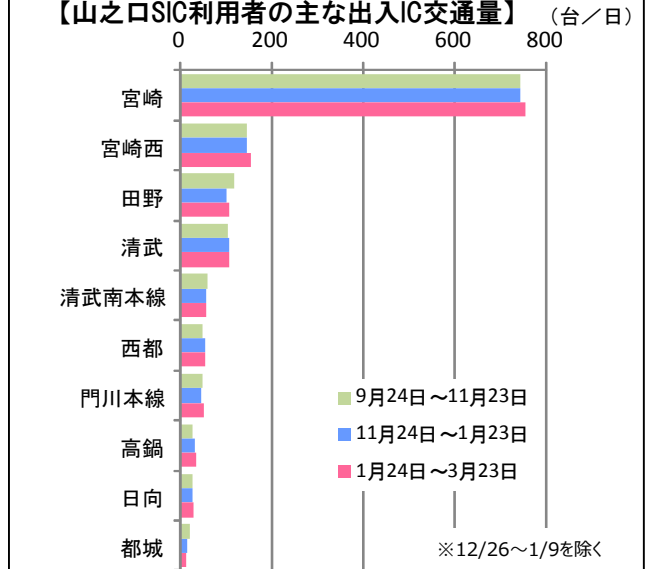
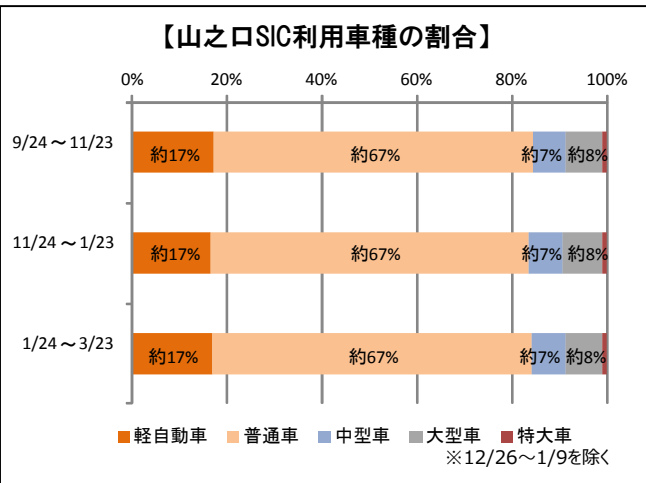
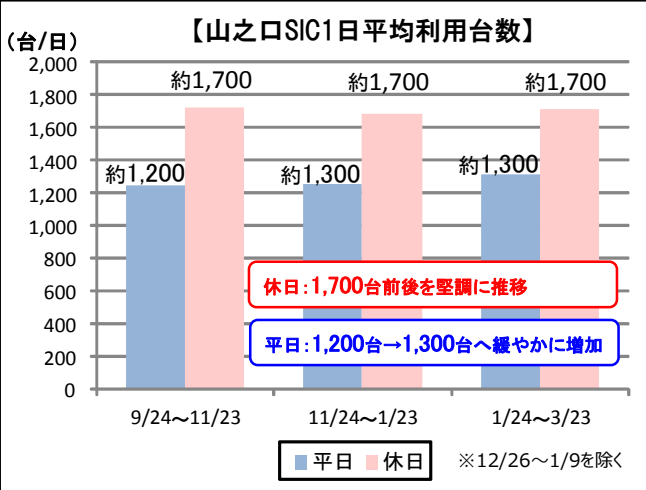
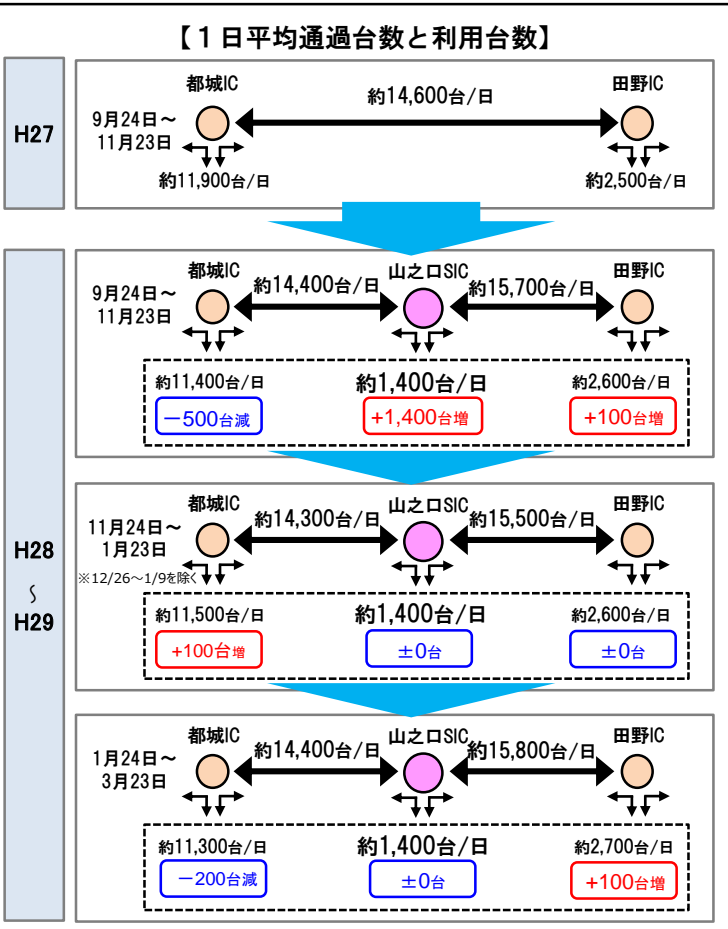


# 山之口スマートIC開通後の整備効果【開通6ヶ月後】

## ○高速道路の交通量の変化

- 山之口SICの日平均利用台数は、**開通後6ヶ月間、約1,400台/日を堅調に推移**。また、都城IC及び田野ICも大きな変動なく推移しており、**日常的な利用として安定化**。
- 休日は約1700台/日で堅調に推移しており、**行楽目的等での利用が多い**と推測される。
- 利用車種は**軽自動車、普通車の割合が多く**、山之口SIC利用時の主な出入り先は、**宮崎市の「宮崎IC」が特に多い**。また6ヶ月間で、平日利用が約1,200台/日→約1,300台/日と徐々に増加しており、**宮崎市との生活圏を形成しつつある**。

## 交通量の変化

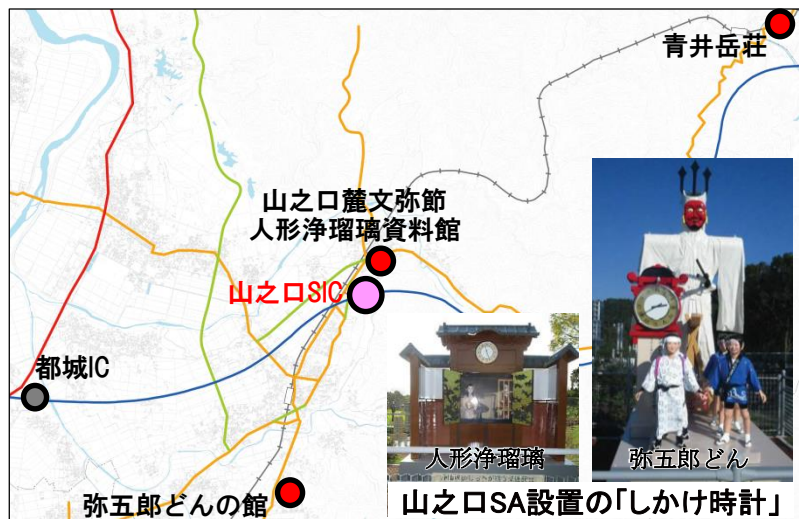


# 山之口スマートIC開通後の整備効果【開通6ヶ月後】

## ○観光の変化

- ・山之口SICの開通後、山之口SAに設置した「弥五郎どん」や「人形浄瑠璃」のしかけ時計など、地域観光施設の魅力発進などもあり、「人形の館」や、「弥五郎どんの館」等の利用者が堅調に増加しており、**地域の観光振興に一定の効果**が伺える。
- ・地域の主要施設である青井岳荘では、温泉利用者が特に増加しており、**日帰り観光や、日常生活での利用者の増加**が伺える。

## 観光の変化

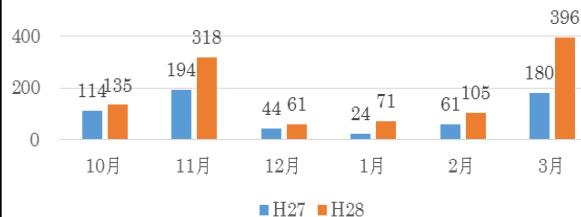


### 人形の館(山之口麓文弥節人形浄瑠璃資料館)



資料: 山之口町商工会HP

#### (人) 【開通前後6ヶ月間の月別利用者数】



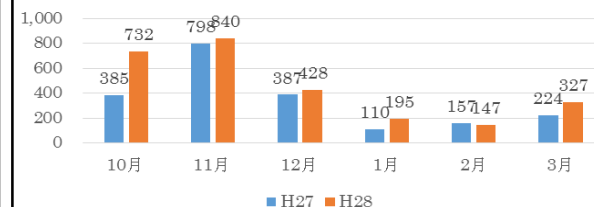
【開通後】前年比: +約80人/月(6ヶ月平均)

### 弥五郎どんの館



資料: 都城、島津と歴史博物館HP

#### (人) 【開通前後6ヶ月間の月別利用者数】 弥五郎どんの館利用者数比較

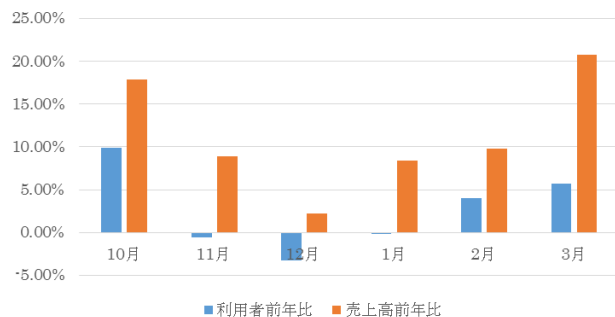


【開通後】前年比: +約100人/月(6ヶ月平均)

## 青井岳荘

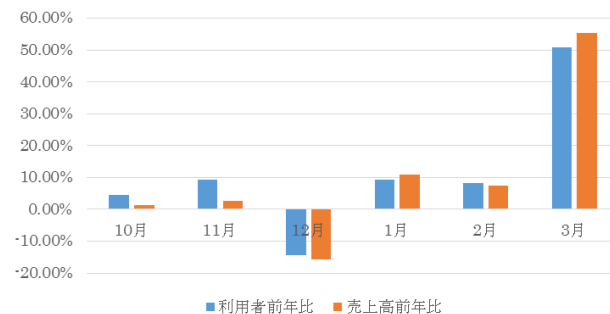
### 【開通前後6ヶ月間の月平均温泉利用者数】

#### 青井岳温泉 (温泉) 利用状況



過年度と比較して、温泉利用者は増加

#### 青井岳温泉 (宿泊施設) 利用状況



※過年度と比較して、宿泊利用者は12月を除き、やや増加

・宿泊利用と比較して、温泉利用者の増加が特に多い。



資料: 青井岳温泉株式会社HP

# 山之口スマートIC開通後の整備効果【開通6ヶ月後】

- 産業面での変化: 都城ICと山之口SICで広域交通網を形成する本地域で、**企業立地が増加し、新たな雇用を創出**
- 医療面での変化: 山之口SICから第3次救急医療施設(宮崎市)への救急搬送事案が発生。**救命率の向上に寄与**
- 防災面での変化: 南海トラフ巨大地震等、広域大規模災害発生時の**バックアップ機能として防災計画に位置付け**

## 産業の変化

○将来を見据えた拠点として、道路網の整備が進む山之口スマートIC、都城IC周辺の工業団地への企業立地が増加中。  
○市内全域への企業立地数も継続して順調。

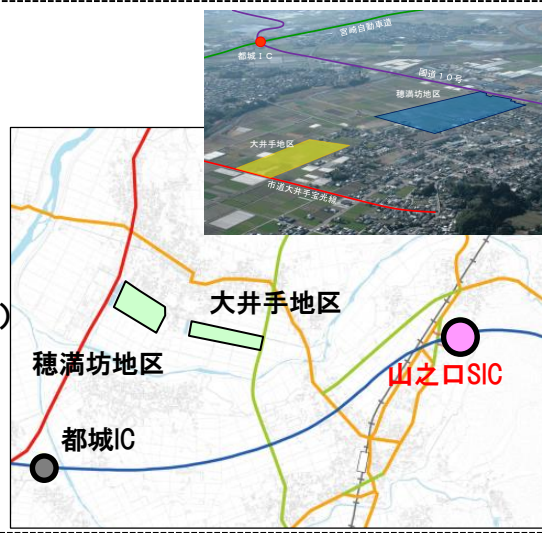
### ① 都城インター工業団地の状況

#### ○大井手地区 (H27年3月操業開始)

- ・医薬品関連小売業が立地
- ・平成27年3月操業開始
- ・**新規雇用123人(H28.4.1現在)**
- ・約4ha、すべて売却済

#### ○穂満坊地区 (H27年9月順次操業開始)

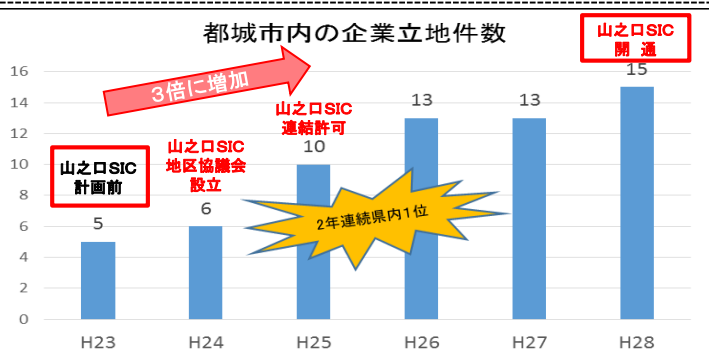
- ・6社(倉庫業、卸売業、製造業)
- ・平成27年9月以降順次操業開始
- ・**新規雇用約170人(予定)**
- ・約13ha、分譲地の売却は順調



### ② 都城市内の

#### 企業立地件数の動向

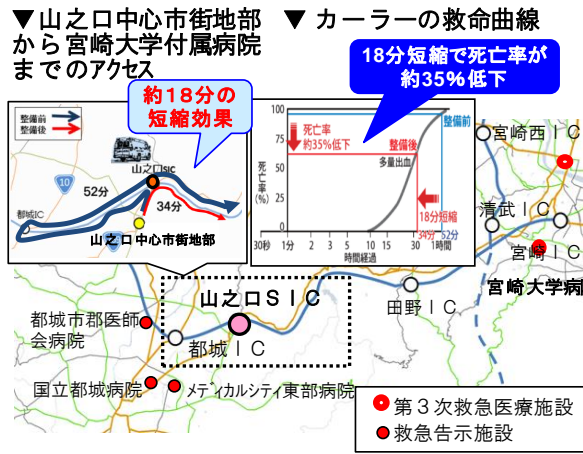
- ・平成28年度は過去最高の企業立地(15件)を達成。



## 医療面での変化

### ○第3次救急医療施設(宮崎市)への搬送実績

平成29年3月までに、**山之口スマートICを利用し、宮崎市内まで救急搬送した事案が2件発生**



## 防災面での変化

### ○都城市の防災計画等への新たな位置付け

平成28年7月に策定した「都城市大規模災害時後方支援計画」において、4つのエリアの1つである「都城IC周辺エリア」において、都城ICを起点とした後方支援活動を想定した場合の**中継基地として山之口スマートICを位置づけ**

